



国は、在宅重視の要として「地域包括ケア」という方針を示しています。

地域包括ケアとは、概ね中学校校区単内に社会資源をそろえていつまでも自宅で暮らせるようにするものです。

そのためには、地域の医療介護福祉職の連携やスキルアップが重要となります。

国は、この地域ケア会議を通じて、地域の連携を深め、最終的には地域のニーズにあった新しいサービスを作り出したり、新しい制度を作ったりするところまでを目標としているようです。



大分県でも埼玉県和光市をモデルに今年度から県内全市町村で始まります

地域包括支援センターまたは市町村が、行政職員や介護支援専門員・介護サービス事業者・医療関係者・民生委員などが事例検討などを通じてともに質の向上を目指す場を設け、会議を通じて地域に応じた課題を検討するもの。



大分国体のキャラクターのめじろん



心身機能活性運動療法

をご紹介します

心身機能活性運動療法とは、体操や器具を使った運動・脳トレーニングを取り入れたゲーム・回想療法などを組み合わせて、体と脳の機能を鍛え、状態を改善させるものです。

デイサービスなどで取り入れられているところもあります。



今回はそのうちの1つ、「フィンガースポーツ運動」をご紹介します。

写真のようなシリコンゴム製の運動器具を使い、手・指を鍛えることで脳に刺激を与え、また腕や肩など上肢全体の神経・筋肉の活性化を促します。



このように指を曲げ伸ばしし、神経を刺激します



大分のカボスを全国に発信
かぼたん



平成 25 年 4 月 13 日 (土) に鴛野地区の民生委員協議会に参加し、敷戸体操教室の紹介などさせていただきました。スマイルゆいは、「住み慣れた地域でいつまでも」をモットーに地域に根ざした居宅介護事業を目指しております。

今後とも地域のさまざまな方とのつながりを深めてまいりたいと思っておりますので、お願いいたします。

